

童謡文化賞 贈呈



2018年童謡文化賞の表彰を受けたわらべ館(公益財団法人鳥取童謡・おもちゃ館)の館長 林 由紀子氏

■童謡文化賞歴代受賞者

- 2002年(第1回) **グレッグ・アーウィン氏** 童謡・唱歌の優れた英訳とその海外への紹介、精力的な演奏活動が高く評価され、贈呈されました。
- 2003年(第2回) **NHK東京児童合唱団** 数多くのテレビ番組ラジオ番組への出演、定期演奏会の開催など、50年に亘る優れた業績が高く評価され、贈呈されました。
- 2004年(第3回) **大中 恩氏** 「いぬのおまわりさん」「サッチャン」をはじめ数多くの童謡作品は、我国の童謡文化の歴史に優れた足跡を残すものであり、その永年に亘る優れた業績を讃え、贈呈されました。
- 2005年(第4回) **眞理ヨシコ氏** NHKテレビの初代「うたのおねえさん」として活動を始められて以来、一貫して“こどものうた”を歌う声楽家としての永年に亘る優れた業績を讃え、贈呈されました。
- 2006年(第5回) **木曜会** 童謡創作の同人「木曜会」の半世紀に及ぶ輝かしい歩みと、同人誌「木曜手帖」600号刊行という優れた業績を讃え、贈呈されました。
- 2007年(第6回) **長田暁二氏** 永年にわたりレコーディング・ディレクターとして「新しい童謡」のレコードの企画制作に活躍され、また、音楽文化研究者として童謡に関わる多くの著書が出版されている。これらの優れた業績を讃え、贈呈されました。
- 2008年(第7回) **株式会社フレーベル館** キンダーブック昭和の童謡童画集『ひらひら はなびら』に集約されたフレーベル館の童謡文化への優れた業績を讃え、贈呈されました。
- 2009年(第8回) **NHKのこども番組『おかあさんといっしょ』**
1959年の番組発足以来、50年に亘る優れた業績を讃え、今後の一層の発展を期待して、贈呈されました。
- 2010年(第9回) **湯山 昭氏** 「あめふりくまのこ」「おはなしゆびさん」をはじめ数多くの童謡作品は、童謡文化の歴史に確かな足跡を残すものであり、その永年に亘る優れた業績を讃え、贈呈されました。
- 2011年(第10回) **日本公文教育研究会** 長年に亘る「全国童謡歌唱コンクール」の特別協賛は、わが国の童謡の普及振興に重要な役割を果たしている。その業績を讃え、贈呈されました。
- 2012年(第11回) **兵庫県たつの市** 長年に亘る「三木露風賞・新しい童謡コンクール」の開催は、わが国の童謡の普及振興を図る極めて優れた事業である。その業績を讃え、贈呈されました。

- 2013年(第12回) **こわせ・たまみ氏** 童謡詩をはじめとして、歌曲・合唱曲の作詩や童話・絵本など幅広い作家活動における優れた業績を讃え、贈呈されました。
- 2014年(第13回) **矢崎節夫氏** 大正期の童謡詩人“金子みすゞ”の現代への甦りに努めた業績と、第二童謡詩集「うずまきぎんが」の上梓を讃え、贈呈されました。
- 2015年(第14回) **牛山 剛氏** プロデューサーとして制作に携わった「全国童謡歌唱コンクール」や「ひろの童謡まつり」など数多くの「童謡コンサート事業」は、わが国の童謡史に確かな足跡を残すものであり、その業績を讃え、贈呈されました。
- 2016年(第15回) **武鹿悦子氏** 60年あまりにわたって感性豊かな言葉によって綴られた「童謡詩」は、いずれも、音楽性豊かな「うた」の世界を奏でており、多くの作曲家を魅了し創作欲を高めてきました。その業績を讃え、贈呈されました。
- 2017年(第16回) **福島県広野町** 広野町が長年に亘って精力的に取り組む「ひろの童謡うたまつり」はわが国の童謡の歴史におおきな足跡となるものであり、その業績が極めて高く評価され、贈呈されました。
- 2018年(第17回) **わらべ館(公益財団法人鳥取童謡・おもちゃ館)**
わらべ館は「童謡・唱歌とおもちゃのミュージアム」としてすべての子どもたちと、子どもの心を忘れないすべての大人たちのための拠点施設となってきました。わらべ館のこれまでの活動が高く評価され、贈呈されました。

■一般社団法人日本童謡協会のあゆみ

日本童謡協会は、童謡作家の大同団結を図って、昭和44年2月に結成。初代会長にサトウハチローが就任した。昭和44年から日本童謡賞を制定。すぐれた童謡を作った人に毎年贈賞している。昭和52年から年刊童謡詩集「こどものうた」を刊行。この童謡詩集の詩に作曲した作品で新曲発表を行う「童謡祭」を毎年一回開催している。昭和54年に中田喜直が第二代会長に就任。昭和59年、毎年7月1日を「童謡の日」とすることを決定。平成元年8月25日、社団法人として正式に認可され、社団法人日本童謡協会となる。平成8年3月からは、こどもの合唱作品を創作発表するための「こどものコーラス展」を毎年開催している。平成13年に湯山 昭が第三代会長に就任。平成14年に童謡文化賞を制定。童謡の普及・発展に寄与した人に毎年贈賞している。一般社団法人日本童謡協会では、伝統ある童謡を継承しつつ新しい童謡を創作し続けて世界に誇り得る日本の文化、童謡を次の世代へ手渡したいと、童謡・唱歌サミットを初めさまざまな活動を展開している。

わたしたちは 幼い頃
わらべうたや童謡で
心豊かに育てられました
詩歌の国・日本では
特に世界に誇り得る童謡を
大切な次の世代へ伝えていくとともに
今を生きるこどもたちが
いま歌ってくれるうたを
日々新しいこどもたちのうたを
つくりつづけています
うたは心の栄養です
IT時代を迎え
ともすれば情緒的な面が
貧しくなりがちな現代
うたが 親と子の
心のこたまになってくれることを願って
わたしたちは活動しています

■東京書籍株式会社

1909(明治42)年創業。小・中・高校教科書発行部数で業界首位。学習教材・指導用教材、学習参考書を発行。デジタル教科書など教育用デジタルコンテンツの開発・販売、教育総合ポータルサイト運営などのインターネットサービス、学力・体力テストなどの各種評価事業、一般書籍・辞典等の出版に加え、日本語検定関連業務も行っている。また、日本で最初の教科書図書館「東書文庫」を附設、所蔵資料約16万点のうち76,420点が国の重要文化財に指定されている。

音楽関係では、童謡やクラシック関係の書籍を多数発行し、また、平成17年に教育専門オンラインショップ『東書WEBショップ』で楽譜と音源の販売を開始した。平成19年には『音楽専門館』をオープンし、『日本童謡唱歌大系(全6巻)』の収録曲(1,057曲)、文化庁が選定した『親子で歌いつごう日本の歌百選』、『小学校音楽劇シリーズ(全6巻)』など、童謡唱歌や学校教材等の楽譜や音源を多数取り揃えて紹介・販売している。